

30歳から始める

ドリフト

目指すは三十路の星!

修練塾

1
出席番号

坂東マサ

●「マサ」は、CB読者なら知っている人も多いだろうけど、レースで活躍する坂東商会の御曹子。過去にウィッツ・レースで、1シーズンに2台を廃車にした過去も。連載のためにS13を買ったらしいが……。クルママが心配!



photo—澤田和久
report—佐藤 圭



「ドリフトしたいけど年も年だし……」
な～んて悩んでいる諸君、ドリに年は関係ないぞ!
本気でドリをもくろむなら、三十路(みそじ)
ドリフター村尾チンゴがひと肌脱ぐぜ!

マッメに
やれ!





チンゴ先生が
素質をCHECK!



◀チンゴ先生が手取り足取り、時には鉄拳を交えて(?)生徒たちを指導するぞ。1つのテーマをクリアしないと次のステップに進めないで、生徒2人も気合い十分!

出席番号2

竹ちゃん



●バトドリなどのイベントでバリバリ働く、CB肉体系スタッフ「竹ちゃん」もドリデビューを目指し受講。CBのS13を使う予定だが、体が大きすぎてバケットシートに収まるのがひと苦労。これじゃドリどころじゃないぞ!

入塾試験の合格発表!?

●まずは生徒の実力を確かめようとして、アクセルターンをやらせてみた。まずはマサなんだけど、ひどいね〜コレは、本人は「カンタンですよ!」と強気なんだけど、ステアリングの向きが変。アクセルターン中はカウンターが当たっているはずなんだけど……。竹ちゃんもステアリングがイン側方向に切れたままで、かろうじて回転しているだけ。どちらもドリには程遠いアンダー状態だよ。こりゃ、ホントに基本中の基本から教えないきゃならないぞ!



■ドリ修練塾カリキュラム(あくまで予定!?)

第2回	定常円旋回(パイロンなし)
第3回	定常円旋回(パイロンあり)
第4回	パイロン2本を使っのての旋回
第5回	8の字 その1
第6回	8の字 その2
...	
	1年後にはサーキットで大活躍!?

さあして、今回から始まるこの新連載「ドリフトをやってみよう」だけど、どう練習すればいいのかわからないって人や、「もう年なのにいまだドリフトなんて」と嘆いている人のためのページだ。対象は必ず30歳以上のナイスミドルな走り屋たち。講師役のオイラ、村尾チンゴがドリフトデビューまでの道はもちろん、クルマ作りに関しても指導していく。1人の脱落者も出さないよう、基本中の基本から段階を追って細かく教えていくので、かなりわかりやすいはずだぞ。ところでなぜ30歳過ぎの人が対象なのかというと、最近のD1を見ててもわかるように、いまや最前線のドリフトを支えている主役は中年?なの。もちろんチューン全般を見

あきらめるのはまだ早い
村尾チンゴが
基礎からトコトン教えます!

てみて、楽しんでるのは三十路(みそじ)以上になってきている。というわけでCBは「元氣なドリおやじ増殖計画」を推進。この年代はグリップ走行のテクはそれなりにあっても、ドリフト未経験の人が多いしね。コン練がまして仲間や子供をアツといわせようぜ! 読者の皆さんと同時進行でドリフトする生徒は、まさにこの企画にピッタリな素材。まずはおなじみ坂東商会の番頭「マサ」。もう一人はバトドリなどのイベントスタッフとして活躍している「竹ちゃん」だ。両者とも30歳を超えていて、ドリフトができるどころか「やったこともない」という人種。はつきりいって教え甲斐のある生徒だぞ。

ドリ特訓必須パーツガイド



コレだけは用意しておくべし!
FRのMT車
◀クルマはFRのMTが理想だね。FFやオートマでもドリフトできないワケじゃないけど、難易度は確実に高くなる。S13とかS14を安く手に入ればラッキー!



機械式 LSD

▲コレがなきゃ始まらないぞってのが、機械式LSDだ。ウエット路面なら純正のビスカスタイプでもどうにかなるけど、ドライ路面ではちょっと無理がある。ドリフトの必需品だぞ。

しておいてくれ! なるべくお金をかけないっていうのも、この連載のポイント。30歳以上ともなれば家庭を持つ人も多いだろうから、家計にダメージを与えないのはマジからね。「無理せず楽しく安全に」を大前提にやってみようぜ!



車高調

▼足まわりはやっぱり車高調がオススメ。でも、レース用などの高いモノである必要はまったくないよ。ロールを抑えるのと、車高を下げるのが目的だからね。



タイヤ多数

◀フロントはとにかくグリップするタイヤを選ぼう。Sタイヤでもいいぞ。リヤは満さえあればなんでもよし。流しやすくなるために、リヤだけインチャダウンなんてのもアリ。